

みんなはどうしてる??

がん治療

仕事両立作戦!

横浜市経済局

がん患者の就労を支援するための労働セミナー

～がんに向き合う人のための笑顔塾～



プログラム1

女性がん経験者 200人のアンケート結果を紹介!

「がんに向き合う職場のために」ピアリングの取組から



上田のぶこ 一般社団法人ピアリング代表 (株)リサ・サーナ代表

がんに向き合う女性のSNSコミュニティ「Peer Ring ピアリング」ファウンダー。43歳で乳がんと心臓腫瘍の告知、3度の手術を経験。市役所を退職し、がんのピアサポートと、がん経験を価値に変え社会にフィードバックするソーシャルビジネスモデルの確立に奮闘中。



プログラム2

がん経験を活かした キャリアカウンセラーによる講演!

「がんになっても、自分らしさをあきらめない。仕事と治療の両立、不安解消のために、できること」



砂川未夏 キャンサーキャリア代表 キャリアコンサルタント

20代で悪性リンパ腫、30代で乳がん、後遺症による長期の不妊治療を経験。現在は、キャリアカウンセリングの資格取得後、フリーランスで活動中。企業・行政・大学などでキャリアカウンセリングや人材開発系プログラム開発、研修講師を務める。関わったカウンセリングはのべ5,000人を超える。



プログラム3

がんでもパワフルに働き続けた 仕事人たちのトーク・セッション!

ファシリテーター：砂川未夏

阿蘇敏之 CAD/CAMオペレーター/がんサロン おしゃべりバディー代表
20歳で精巣腫瘍罹患。43歳で再び後腹膜胚細胞腫瘍。

小林 真 システムエンジニア/NPO法人 患者スピーカーバンク理事長
38歳の働き盛りの時に慢性骨髄性白血病に罹患。

望月ミサ グラフィック・デザイナー/患者会 ピアリング婦人科リーダー
49歳、最も仕事がついていた時期に卵管がんを罹患。



2019年10月5日(土) 14:00~16:30 (受付13:30~) **無料**

横浜市技能文化会館 802会議室

対象: がん治療と仕事の両立に関心のある方(定員30人)

(がん罹患者ご本人だけでなく、ご家族、そして企業の方など、
本テーマに関心のある方は どなたでも)

問合せ: 横浜市経済局雇用労働課

電話 045-671-2341

FAX 045-664-9188

メールアドレス ke-koyo@city.yokohama.jp

*右のQRコードが読み込めない方は、上記でもお申込を受付ます。



お申込は
こちらの
QRから